



木の実谷

上越市立吉川中学校
学校だより「第11号」
令和6年3月15日発行

教育目標 「向上心に燃え 心身ともにたくましく 実践力のある生徒」

第45回卒業式によせて

校長 櫻井 直人

3月8日(金)、第45回卒業式が挙行されました。当日は、厳粛かつ感動の卒業式となりました。保護者のみなさん、地域の皆さんに対し、これまでの卒業生28名の様々なご支援に心より感謝申し上げます。

校長 はなむけの言葉

※ 前略

令和3年4月、皆さんの中学校生活は新型コロナウイルス感染症による世界的な混乱の中でスタートしました。学校行事や部活動などあらゆる面で制約を受けました。昨年五月に感染症対策が緩和されたとはいえ、マスク生活が日常の当たり前になるなど、生活様式が激変しました。そのような中でも皆さんは、後輩の模範となる成果をあげるとともに、「喜怒哀楽～メリハリがあり生徒一人ひとりが意見をもって共有し合える吉中～」の生徒会スローガンのもと、何事にも悲観することなく前向きに日々の学校生活を送りました。



令和5年10月6日、全校生徒が楽しみにしていたOkAMI遠足は悪天候のため、中止せざるを得ませんでした。多くの生徒が落胆しているようすがわかります。そこで先生方で話し合っ、少しでも楽しんでくれたらという思いから全校レクリエーションを実施しました。レクが終わって何人かの生徒に感想を聞きました。みなさん楽しかったという感想を述べて我々もホッとしたのですが、3年生の代表生徒は「私たちのためにレクを計画してくれた先生方、ありがとうございました」と感謝の言葉を述べました。楽しみにしていた行事が中止になった後にこのような前向きで感謝に満ち溢れた言葉、なかなか言えるものではありません。本当に、思いやりのあふれた三学年でした。

そればかりではありません。毎朝玄関でさわやかな挨拶を返してくれる人、話しかけるといつも笑顔で答えてくれる人、リーダーとして後輩たちを導いてくれた人、いつも授業に集中していた人、一生懸命に掃除ができる人、困っている人に優しく声掛けできる人、だれも見えていなくても黙々と自分の役割を果たす人、皆さんの素晴らしさや成長をたくさん見ることができました。そんな皆さんと一年間ともに学校生活を送れたことは、私にとっても誇りであり、大きな財産となりました。

そして、4月から新しいスタートを切ることになります。そんな皆さんに私から次の言葉を送りたいと思います。

「信頼と自信は、誰も見ていないところでどう行動するかにかかると決まる」

この言葉は、私が高校時代に在籍していた野球部の監督の言葉です。

人間は集団で生活する生き物です。他の人の前で、相手の立場や考えを尊重し、思いやりをもって行動することは絶対に必要なことです。では、だれも見えていないところでの行動はどうでしょうか。だれも見えていないところでゴミを捨てる人、だれも見えていないところでゴミを拾う人、どちらの行動が正しいか論じるまでもありません。こういう正しい行動は、いつかどこかでだれかに見られます。

そのとき、人は「あっ、この人は表裏なく行動する人だ」と評価され信頼を得ます。

しかし、だれも見えていないところで百回も千回も正しい行動をしても、本当にだれもみていなければ意味がないと考える人もいるかもしれません。ところがどんな行動でも必ず一人は見ているのです。それは自分です。自分の行動は必ず自分が見ているのです。これを百回も千回も、いや人生の習慣として一生続ければ、人にとってとても大きな自信となると思います。生きていくうえで、「信頼」と「自信」この2つの大きな武器をもてば、豊かな人生になること間違いなしです。

当校の校舎、校地にはいつもゴミ1つ落ちていません。ゴミを例に出しましたが、当校の生徒六十八名はこの誰も見えていないところでの正しい行動、表裏のない正しい行動を全員が実践していると信じています。それを導いてくれたのが三年生であり、応えてくれたのが一、二年生です。一、二年生のみなさんも立派に成長しました。卒業生のみなさんはどうか安心して次のステップに向けて羽ばたいてください。ただ時々吉川中学校に顔を見せてくれると嬉しいです
※ 中略

最後になりますが、ここに参列していただいた皆様と、お子さんの成長に関わってきたご家族、地域の皆様に感謝申し上げます。言葉とさせていただきます。

卒業生代表 巣立ちの言葉

日を追うごとに春も深まり、心華やぐ季節となりました。今日、私たち二十八名は、自分たちの夢を実現するため、この吉川中学校を卒業します。ご来賓のみなさま、保護者のみなさま、本日は、お忙しい中、私たちのためにご臨席いただき、ありがとうございます。みなさまのおかげで、本日の卒業式を迎えることができました。思い起こせば、この三年間、先生方やクラスのみならず、かけがえのない時間を過ごすことができました。大変なこともありましたが、最後は笑顔に包まれる、そんな中学校生活だったと思います。



特に今年度は、例年とは少し異なった、心に残る行事がたくさんありました。体育祭では、フリー競技を行いました。初の試みだったので、上手いか心配な部分も多くありましたが、学年を超えて声をかけあい、楽しみながら競技に取り組んでいる様子を見ることができて、嬉しかったです。また、猛暑の影響で、半日開催の体育祭となりました。最後の体育祭が短くなるのは残念でしたが、プログラムを工夫し、安全に、楽しく行事ができるよう工夫をしてくださった先生方。朝早くから声援を送り、片づけもしてくださった保護者のみなさま。それに応え、限られた時間の中でも両軍で懸命に競いあい、魂を燃やした吉中生の姿から吉川中学校としての結束力の高まりを感じました。

音楽祭では、チェコのブラハからピアニストの市村幸恵さんをはじめ、三名の演奏家が来校し、海外の音楽を体験することができました。三名の演奏に合わせて歌ったり、実際に演奏を聴いたりすることができ、貴重な体験となりました。また、今年度は中学校最後の音楽祭だったので、クラス合唱では今まで以上に気持ちが入っていました。たくさんの人の前で歌うのは緊張しましたが、音程やリズムが難しいところを、何度も確認あった練習の成果を発揮することができ、終わった後は達成感でいっぱいでした。みんなと歌うことができて良かったです。

OKAMI遠足は、悪天候のため実施することができませんでしたが、OKAMIハイキングという形で級友とパノラマまで行くことができました。思い出の行事が減らないようにと、別の形を考えてくださった先生方、ありがとうございました。友達と歩きながらたくさんの話をした時間は、かけがえのないものとなりました。また、ゆっくりと吉川の自然に触れることもでき、地域の良さを改めて感じました。

様々な状況下で、新たなことに挑戦し、多くの活動を行うことができたのは、先生方のおかげです。私たちが困っているときには話を聞き、解決の糸口を出してくださいました。優しく、時には厳しく指導してくださったので、私たちはここまで成長することができました。素敵な先生方に出会えて、幸せです。先生方がかけてくださった言葉を胸に、これからの人生を歩んでいきたいと思います。ありがとうございました。

3年A組のみなさん。みんなと過ごした時間はあっという間でした。ちょっとしたことで笑い合ったり、くだらないことでふざけ合ったりした一秒一秒は、どれも最高の思い出です。一年生の時は、自分の意見がなかなか出せず、班内の話し合いが進まなかったり、教え合いがあまりできませんでした。しかし、行事や学校生活を通して、クラス全体の仲が深まっていきました。三年生になってからは、自分の意見をだせるようになり、話し合い活動が活発になりました。大変なこともありました、このメンバーだから乗り越えられたのだと思います。一緒に盛り上がり、達成感を味わうことができ、楽しかったです。三年間、たくさんの思い出と幸せをありがとう。みんなに出会えたこと、本当に感謝しています。

一年生、二年生のみなさん、みなさんの力がなければ、今の私たちはいません。みなさんの支えがあったからこそ、今年度の生徒会活動をやり遂げることができました。一緒に学校を盛り上げてくれて、ありがとうございました。みなさんには頼れる仲間、支えてくださる先生方、いつも温かく出迎えてくれる家族がいます。一人で抱え込まず、今まで先輩方が築き上げてきたものに負けないくらい素敵な吉川中学校にしていってください。

そして、一番近くで温かく見守ってくれた家族。思春期の私たちは、なかなか素直になれず、私たちのことを思ってくれてくれた言葉も、なかなか受け入れることができなかつたり、時には反抗したりしていました。それでも、どんな時も私たちを励まし、寄り添い、不安を和らげてくれる、その温かさが本当に嬉しかったです。普段は照れくさくて言えないけれど、いつも、感謝の気持ちでいっぱいです。十五年間育ててくれて、ありがとうございました。これからお世話になりますが、よろしくお願いします。

今まで当たり前だと思っていた日々大切さが、今は分かる気がします。三年間は、長い人生のうちでほんの少しの時間かもしれませんが、この中で学んできたこと、感じてきたことはとても多く、大切なものです。吉川中学校での思い出は、一生忘れられないものとなるでしょう。

最後になりますが、保護者のみなさま、先生方、今まで本当にありがとうございました。明日からは、一人一人が夢に向かって、一歩ずつ進んでいきます。立ち止まることもあると思いますが、温かく見守っていてください。

本日も臨席いただいた皆様のご健康とご多幸、そして母校吉川中学校の益々のご発展をお祈りし、巣立ちの言葉といたします。



※文中のイラストは、卒業式ご来賓、橋爪法一様よりいただきました



PTA会長 祝辞



卒業記念合唱



涙の退場



式後、最後の終学活

<生徒総会、引継ぎ式、三年生を送る会>



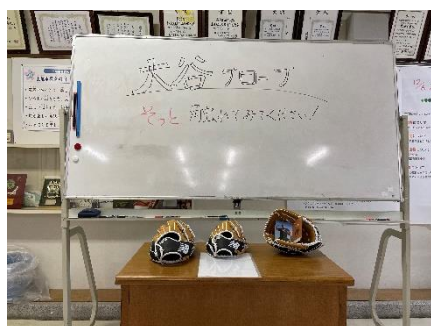
3月22日（金）に生徒総会、引き続き生徒会引継ぎ式、さらに三年生を送る会を実施しました。生徒総会は3年生を中心に今年度を振り返り来年度に向けてたくさんの意見が出されました。まさに生徒会の伝統的なスローガンである「明朗、さわやか、堂々」とした姿でした。その「バトン」が3年生から1，2年生に引き継がれました。



3年生を送る会は、2年生が中心

となり、3年生に感謝の気持ちを表す会でした。校舎全体を使い「ケイドロ」という鬼ごっこをしました。安全面に配慮しながら、みんな笑顔で楽しむことができました。その企画力に、1年生から驚きの声も出ました。伝統は引き継がれていると感じました。

<大谷翔平選手のグローブ>



小学校から「大谷グローブ」を借りてきました。多くの生徒が実際に手に取って感触を確かめていました。残念ながら小学生もまだ自由に使える段階にないのでキャッチボールはできませんでしたが貴重な機会となりました。夢を追う大谷選手と同じように、それぞれの夢が実現しそうな気がしました。

令和6年4月の予定

※予定は都合により変更する場合があります。ご了承ください。

8日（月）	新任式、始業式	18日（木）	全国学力学習状況調査
9日（火）	入学式	24日（水）	1年生交通安全教室
11日（木）	NRTテスト（国数瑛）	25日（木）	授業参観、PTA総会
12日（金）	NRTテスト（理社）		

令和5年度がまもなく終了します。この1年間の保護者、地域の皆様をはじめとする関係各位のご理解、ご支援に心より感謝申し上げます。すべての教育活動がうまくいったとは考えておりません。不安や心配な点もあったと思いますが、教職員一同、一生懸命対応してまいりました。今後も生徒の健全育成のため、誠心誠意、様々な活動に取り組んでまいります。変わらぬ、ご理解、ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

